

ごあいさつ

本日はお忙しい中、リサイタルにお越しいただき誠に有難う御座います。

昨年は皆様の応援のお陰で、田島遥がたくさん賞を戴く事が出来ました。

昨年の夏、大久保きよみ先生から推薦を戴いて、フィンランドのクフモ音楽祭に参加し、とても貴重な経験をして参りました。

本日のリサイタルは、そのご報告と皆様への感謝の気持ちをお返しできたらと思い、企画いたしました。

日本に居てはなかなか感じる事の出来ない自然の大きさ・温かさ・・・多国籍の方との触れ合い、ポギーノ先生のレッスン。

たくさんの貴重な経験から刺激を受け、一回り大きくなって帰ってきたようです。

そして何より本人自身、改めて音楽を愛する気持ちに灯が点ったような気が致します。

今日の演奏は、まだまだ発展途上ではあります。

しかし、音楽と友達になったばかりの小さな生徒さんから、音楽をこよなく愛する大人の方まで、何かを感じてくださり、

音楽との付き合い方や勉強の仕方が変わってくださるきっかけになれば、大変嬉しく思います。

階段を1段1段登り始めたばかりですが、これからも叱咤激励をしていただき温かく応援してくださいますようお願い申し上げます。

そしてこれから、このようなステージにたくさんの生徒さんに経験していただけるように努力してまいりたいと思います。

最後になりましたが、本日演奏して下さる、きよみ先生・・・クフモでもたくさんお世話になりました。そして本日を迎えるまで、

応援して支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。

今年、いよいよエリーゼ音楽祭も幕を開けます。

音楽の素晴らしい魅力で世の中に平和と幸せが満ち溢れる事を祈りつつ・・・私のご挨拶とさせていただきます。

EME (Elise Music Entertainment)

代表 長谷川ますみ

皆様、今日はお忙しい中リサイタルにお越し頂きまして、ありがとうございます。

皆様の前で私の大好きなバッハの曲をはじめ、ベートーベンやショパンの名曲を演奏することができ、とても幸せに思います。

昨年夏に私はフィンランドのクフモで開催された国際音楽祭のマスターコースに参加させていただき、

これまでにない貴重な体験をすることができました。

そして、帰国後、バッハ作曲の「トッカータ」で、光栄にも素晴らしい賞をいただくことができました。

これも、マスタークラスでのポギーノ先生を始め、フィンランドへと私の背中を押して下さった大久保きよみ先生や、

日頃からご指導をいただいている長谷川ますみ先生、黒川浩先生、そして、

いつもそばで見守って支えてくれる両親のお陰だと思います。

まだまだ未熟な私ですが、今日は、いろいろな方への感謝の気持ちを胸に、心を込めて演奏します。

そして、このコンサートを機に、ますます大きく成長していきたいです。どうぞ、お聴きください。

田島 遥



### 田島 遥 (たしま はるか)

3歳よりピアノを始める。

2006年 第10回 PIARA ピアノコンクール ジュニアC部門 全国大会にて第1位 最優秀賞受賞

2008年 第21回 九州・山口ジュニアピアノコンクール 中学生部門 最優秀賞受賞

2008年 第6回 ヴェルデ音楽コンクール 中学生部門 金賞 並びに ヴェルデアーティスト賞受賞

2010年 第23回 九州・山口ジュニアピアノコンクール 高校生部門 本選最優秀賞 同時に

九州・山口協会賞 及び 総合1位 グランプリ受賞

2010年 第8回 ヴェルデ音楽コンクール 高校生部門 自由曲コース 予選金賞 本選金賞 並びに

総合第1位 ヴェルデグランプリ賞に輝く。また、同時に審査員特別賞も受賞したことから  
フィンランドの国際音楽祭マスタークラスへの招待留学資格を得る。

2010年 第1回 山手の丘ピアノコンクール 全国大会 第2位 及び フェリス音楽教室賞受賞

現在、福岡県立福岡高等学校2年生。長谷川ますみ、大久保きよみ、黒川浩、Konstantin Bogino 各氏に師事。



### 大久保 きよみ (おおくぼ きよみ)

ピアニスト・作曲家。吉永妙子、サミュエル・サンダース、ヘッセ・ブコウスカ各氏に師事。  
ジュリアード音楽院、ウイーン国立音楽アカデミーマスターコース修了。

留学を経て帰国後、FM福岡などの番組曲を手がけ、パーソナリティーも務める。

オリジナル作品によるCDを3枚リリース、CMソングやTV番組などの作曲を中心に活躍。

毎年、北欧を中心にヨーロッパ各国にてコンサートツアーが行われており

ピアニスト、作曲家として高い評価を得ている。

日本に古くから伝わる叙情歌をピアノソロ用に自身が編曲した

【四季シリーズ】はツアーにおいて必ず各地で演奏を希望される等、

ヨーロッパでも大変人気があり、2011年、スウェーデンでの録音が予定されている。



### 第1部 田島遥 ピアノ演奏

#### トッカータ 第5番 BWV.911 ハ短調 バッハ作曲

「音楽の父」と称されるバッハは、作曲家であり、ドイツの教会でオルガニストとしても活躍していました。

このトッカータ(イタリア語で「触れる」という意味)にも随所に教会的要素が巧みに使われています。

このBWV.911は、クフモ国際音楽祭でポギーノ先生にご指導をいただいた曲の1つです。

バッハのトッカータの中でも気品があり、とても優雅な感じがします。

大きな祈りを思わせる曲の冒頭は、切れ味よく深い響きで演奏したいところです。

また、3声の長いフーガの部分は、各声部を独立させ、テーマを際立たせて、立体的な響きのある演奏にしたいと思います。

古い教会での慈愛に満ちた祈りの心をイメージして聴いてください。この曲は、これから先も一生忘れられない思い出の1曲になりました。

#### ソナタ Op.31-2 「テンペスト」 ベートーベン作曲

この作品のタイトルは、ベートーベンの弟子がこの曲の解釈を聞いたところ、

ベートーベンが「シェイクスピアの『テンペスト』を読め」と言ったところから、後世つけられたそうです。

「テンペスト」とは、「嵐」の意味です。「復讐」「娘の恋」「和解」・・・大嵐のなか絶海の孤島で引き起こされる人間模様の劇を思わせる作風です。

第3楽章の冒頭から繰り返されるメロディは、この劇に登場する空気の精アリエルの羽ばたきを表しているということだそうです。

実は、テレビのBGMで流れていたこの第3楽章のメロディを私の父が気に入り、今回私がこの曲を演奏することにしました。

テンポや強弱の急激な変化に気をつけて、幻想的な展開をダイナミックに演奏したいと思います。

#### スケルツォ 第3番 Op.39 嬰ハ短調 ショパン作曲

「スケルツォ」とは、イタリア語で「冗談」の意味ですが、音楽的には特定の形式や拍子、

テンポに束縛されない性格をもった曲と捉えることができます。ショパンは4曲の「スケルツォ」を作っています。

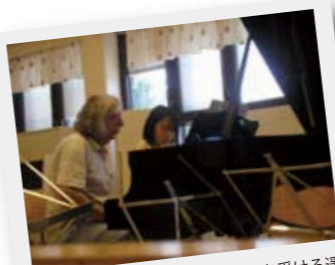
この第3番は、ショパンが愛人ジョルジョ・サンドとのマジョルカ島への逃避行した頃の作品です。

2年前に私は、コンクールやコンサートで何度かこの曲を演奏しましたが、当時中学生の私にとってはとても難しい曲でした。

ものものしい序奏の後に、両手の力強いオクターブの連続が始まります。

途中のアルペジオの部分は、美しい真珠がゆっくりときらめきながらころがっていくように、

そして終結部は激情をぶつけるように力強く演奏したいと思います。



真剣にポギーノ先生のレッスンを受ける遥



似てるかも・・・



大自然のサイクリング★



マッカラ上手に焼けるかな!?



緑がまぶしい!



浴衣もかわいいね♥